

京田辺市次世代育成支援行動計画(後期)実績報告(平成26年度)

◎ 展開する事業群(3-1-1)

基本目標	3	子どもが安心して暮らし、育つことができる環境づくり
施策目標	(1)	地域における子育て支援の推進
基本施策分野	①	地域の教育力・社会力の向上

★ 新規事業(5) ☆ 拡充事業(26) * 計画にない新規H22(2)・H23(2)

事業名称	事業内容(細事業)	担当課	事業年度	25年度実績	26年度実績
生涯学習人材バンク	○生涯学習事業保育ボランティア事業 (市民の生涯学習事業支援のための人材派遣・斡旋)	社会教育・スポーツ推進	H22～26	保育ボランティア登録者数14人 11月23日草内小ミニライブ2名 2月16日教育講演会2名	保育ボランティア登録者数20人 教育講演会 2月14日
子育てセミナーの開催	○子育てセミナー (再掲1-(1)-④、1-(2)-①、1-(3)-③、2-(1)-①)	社会教育・スポーツ推進	H22～26	家庭教育子育てセミナー(中央市民大学公開講座)9月13日参加者20人 地域子育てセミナー(8小学校)8事業 参加者451人	地域子育てセミナー(全9小学校)9事業 参加者796人
ふるさと体験学習の推進	○ふるさと体験学習 (再掲2-(1)-⑤、3-(1)-②)	社会教育・スポーツ推進	H22～26	9地域委員会 合計65事業 参加者総数 約3473人 (参加人数不明の事業あり)	9地域委員会 合計66事業 参加者総数 約7812人 (参加人数不明の事業あり)
子どもの居場所づくりの推進	○子どもの居場所づくりの推進 (再掲2-(1)-⑥)	社会教育・スポーツ推進	H22～26	新規2地域開設。42区・自治会のうち14箇所継続実施。	新規2地域開設。42区・自治会のうち15箇所継続実施。

京田辺市次世代育成支援行動計画(後期)実績報告(平成26年度)

◎ 展開する事業群(3-1-2)

基本目標	3	子どもが安心して暮らし、育つことができる環境づくり
施策目標	(1)	地域における子育て支援の推進
基本施策分野	②	地域における世代間交流等の推進

事業名称	事業内容(細事業)	担当課	事業年度	25年度実績	26年度実績
高齢者等との交流の推進	○大住ふれあいセンターでの交流事業の推進	子育て支援	H22～26	①高齢者と小学生のグラウンドゴルフ交流会(年2回:7月・10月) ※高齢者が子どもたちに技を伝授 ②よもぎだんごづくり(6月1日) ※高齢者が子どもたちに調理を指導 ③高齢者と子どもたちとのもちつき交流会(年1回:1月) ※高齢者のリードのもと ④紙粘土でオリジナルフォトフレームをつくろう(2月22日) ※高齢者と小学生と一緒に製作	①高齢者と小学生のグラウンドゴルフ交流会(年2回:5月・10月) ※高齢者が子どもたちに技を伝授 ② ながしそうめん(7月26日) ※高齢者が子どもたちにながしそうめん台の作り方を指導 ③高齢者と子どもたちとのもちつき交流会(年1回:1月) ※高齢者のリードのもと
	○保育所地域活動事業 ・世代間交流事業 (保育所児童の老人福祉施設等への訪問活動等) (再掲3-(1)-⑤)	子育て支援		公立・民間保育所(園)で老人福祉施設の訪問・地域の老人との交流事業(餅つき・観劇)・囲碁教室を実施	公立・民間保育所(園)で老人福祉施設の訪問・地域の老人との交流事業(餅つき・観劇)・囲碁教室を実施
ふるさと体験学習の推進	○ふるさと体験学習 (再掲2-(1)-⑤、3-(1)-①)	社会教育・スポーツ推進	H22～26	9地域委員会 合計65事業 参加者総数 約3473人(参加人数不明の事業あり)	9地域委員会 合計66事業 参加者総数 約7812人(参加人数不明の事業あり)

京田辺市次世代育成支援行動計画(後期)実績報告(平成26年度)

◎ 展開する事業群(3-1-3)

基本目標	3	子どもが安心して暮らし、育つことができる環境づくり
施策目標	(1)	地域における子育て支援の推進
基本施策分野	③	地域における子育て支援団体等の活動の充実

事業名称	事業内容(細事業)	担当課	事業年度	25年度実績	26年度実績
民生児童委員・主任児童委員による子育て支援事業への支援	○子育てサロン (再掲3-(1)-④)	社会福祉	H22～26	親同士、子同士の気軽な交流の場として、各地域で実施されている子育て支援事業に対する民生委員・児童委員の活動を支援した。	親同士、子同士の気軽な交流の場として、各地域で実施されている子育て支援事業に対する民生委員・児童委員の活動を支援した。
子ども会育成事業の推進	○子ども会育成事業 ・地域子ども会の育成と支援	社会教育・スポーツ推進	H22～26	子ども体験教室(中央公民館事業) 7月27日 午前・午後延べ46人参加	子ども体験教室(中央公民館事業) 7月27日・8月20日・8月21日・8月27日 午前・午後延べ108人参加
★5 子どもの遊び場情報誌の作成(★)	○子どもの遊び場情報誌の作成(★) (再掲3-(1)-⑥)	子育て支援	H22～26	同志社大学のルームプロジェクトにおいての企画で作成したマップデータを4000部印刷。	なし
市民活動の支援	○市民団体の活動助成	市民参画	H22～26	・市民活動推進補助金の交付 3件	・市民活動推進補助金の交付 1件
	○(仮称)市民活動講座	市民参画	H22～24	・市民活動はじめての一步実践講座の開催 7回シリーズ、受講生11人	・市民活動はじめての一步実践講座の開催 5回シリーズ、受講生8人 ・市民活動パワーアップセミナーの開催 受講者 15名

京田辺市次世代育成支援行動計画(後期)実績報告(平成26年度)

◎ 展開する事業群(3-1-4)

基本目標	3	子どもが安心して暮らし、育つことができる環境づくり
施策目標	(1)	地域における子育て支援の推進
基本施策分野	④	仲間づくり、子育て支援のネットワークづくりの推進

事業名称	事業内容(細事業)	担当課	事業年度	25年度実績	26年度実績
仲間づくりの支援	○親子なかよし学級(幼稚園)	学校教育	H22～26	次年度3歳児となる幼児と保護者を対象に、市立幼稚園8園で実施し、参加実績244組。	次年度3歳児となる幼児と保護者を対象に、市立幼稚園8園で実施し、参加実績320組。
	○子育てサロン(再掲3-(1)-③)	社会福祉		親同士、子同士の気軽な交流の場として、各地域で実施されている子育て支援事業に対する民生委員・児童委員の活動を支援した。	親同士、子同士の気軽な交流の場として、各地域で実施されている子育て支援事業に対する民生委員・児童委員の活動を支援した。
	○ふれあい広場(児童館)	子育て支援		延べ利用者数(保護者含む) 田辺児童館 101人 普賢寺児童館 427人 大住児童館 12,163人 合計 12,691人	延べ利用者数(保護者含む) 田辺児童館 117人 普賢寺児童館 314人 大住児童館 12,669人 合計13,100人
	○親子教室(児童館)	子育て支援		延べ利用者数(保護者を含む) 普賢寺児童館 5,909人 大住児童館 3,518人 南山こどもセンター 902人 合計 10,329人	延べ利用者数(保護者を含む) 普賢寺児童館 6,655人 大住児童館 3,305人 南山こどもセンター 607人 合計 10,567人
	○園庭開放(保育所)	子育て支援		3つの保育所が年間72回園庭を開放し、延べ578人が利用した	3つの保育所が年間72回園庭を開放し、延べ664人が利用した
	○地域子育て支援センター事業	子育て支援		河原・大住子育て支援センターにおいて園庭開放3,643人 親子あそび1,951人 すくすくサロン308人 サークル活動のサポート出前保育1176名	河原・大住子育て支援センターにおいて園庭開放5,353人 すくすくサロン658人 サークル活動のサポート出前保育1077名

京田辺市次世代育成支援行動計画(後期)実績報告(平成26年度)

育児サークルの支援	○子育てサークルの支援 ・サークルリーダー交流会	子育て支援	H22～26	ねこバス 3回/年 合計 76名 トレジャー・キッズ☆ 3回/年 59名 子育てママ応援し隊「はいはい」 2回/年 56名 ビー・カー・プー! 1回/年 89名 あっぷっぷ・あおいくま合同 1回/年 42名 ちびミッフィー 1回/年 25名	ねこバス 3回/年 合計 63名 びっぴ 1回/年15名 ビー・カー・プー! 3回/年 163名 Babyビー・カー・プー! 1回/年 36名 どろんこクラブ 1回/年 14名 ちびミッフィー 2回/年 52名
				6月7日サークルリーダー交流会(事業紹介・交流) 合計 23名 11月1日サークルリーダー交流会(あそびの紹介・交流会)合計 26名 12月6日サークル向け講習会(歯について) 合計 53名 12月7日サークル向け講習会(わらべうた) 合計 20名	6月6日サークルリーダー交流会(遊びの紹介) 合計 34名 11月19日サークルリーダー交流会(クリスマス政策・交流会)合計22名 12月10日サークル向け講習会(救命講習) 合計 12名 2月5日サークル向け講習会(わらべうた) 合計 37名
	○保健師等の派遣	子育て支援		サークルへ派遣 3回	サークルへ派遣 3回
	○えぷろんママの派遣	子育て支援		サークルへ派遣 11回	サークルへ派遣 16回
	○活動場所の提供等 (児童館、地域子育て支援センター等)	子育て支援		社会福祉センター 28回 コミュニティホール 1回	社会福祉センター 19回 中部住民センター 1回 中央公民館 1回 コミュニティホール 1回

京田辺市次世代育成支援行動計画(後期)実績報告(平成26年度)

◎ 展開する事業群(3-1-5)

基本目標	3	子どもが安心して暮らし、育つことができる環境づくり
施策目標	(1)	地域における子育て支援の推進
基本施策分野	⑤	学校等における地域との交流の推進

事業名称	事業内容(細事業)	担当課	事業年度	25年度実績	26年度実績
地域に開かれた保育事業の推進	○保育所地域活動事業 ・保育所体験事業(園庭開放) ・育児講座 ・世代間交流事業 (再掲3-(1)-②)	子育て支援	H22~26	公立・民間保育所(園)で老人福祉施設の訪問・地域の老人との交流事業(餅つき・観劇)・囲碁教室を実施	公立・民間保育所(園)で老人福祉施設の訪問・地域の老人との交流事業(餅つき・観劇)・囲碁教室を実施
学力の充実・向上と個性を生かす教育の推進	○特色ある学校づくり ・社会人講師の活用 ・ボランティア受入れの促進 (再掲2-(1)-①、3-(1)-⑥)	学校教育	H22~26	総合的な学習の時間等で地域の人材を活用した。 講師等謝金 小学校560千円、中学校303千円 同志社大学等の学生ボランティアによる学習支援を実施した。登録者26人	子ども・学校応援プロジェクト「教育実践モデル校」指定事業12校すべてをモデル校に指定し、研究を開始した。 同志社大学等の学生ボランティアによる学習支援を実施。登録者21人。

◎ 展開する事業群(3-1-6)

基本目標	3	子どもが安心して暮らし、育つことができる環境づくり
施策目標	(1)	地域における子育て支援の推進
基本施策分野	⑥	大学との連携の推進

事業名称	事業内容(細事業)	担当課	事業年度	25年度実績	26年度実績
学力の充実・向上と個性を生かす教育の推進	○特色ある学校づくり (再掲2-(1)-①)、3-(1)-⑤)	学校教育	H22~26	総合的な学習の時間等で地域の人材を活用した。 講師等謝金 小学校560千円、中学校303千円 同志社大学等の学生ボランティアによる学習支援を実施した。登録者26人	子ども・学校応援プロジェクト「教育実践モデル校」指定事業12校すべてをモデル校に指定し、研究を開始した。 同志社大学等の学生ボランティアによる学習支援を実施。登録者21人。
★5 子どもの遊び場情報誌の作成(★)	○子どもの遊び場情報誌の作成(★) (再掲3-(1)-③)	子育て支援	H22~26	同志社大学のルームプロジェクトにおける企画で作成したマップデータを4000部印刷。	子育てマップ発行:3000部

京田辺市次世代育成支援行動計画(後期)実績報告(平成26年度)

◎ 展開する事業群(3-2-1)

基本目標	3	子どもが安心して暮らし、育つことができる環境づくり
施策目標	(2)	(2)子どもと子育て家庭にやさしいまちづくり
基本施策分野	①	豊かな自然環境の活用と保全

事業名称	事業内容(細事業)	担当課	事業年度	25年度実績	26年度実績
☆21 京田辺市都市計画マスタープランの改訂及び実施(☆)	○周辺環境・自然環境に配慮した土地利用の推進	都市計画 計画交通	H21~22	平成22年度改訂完了	平成22年度改訂完了
自然体験活動等の促進	○自然体験活動 (薪甘南備山生活環境保全林の活用など)	農政	H22~26	薪甘南備山生活環境保全林の維持管理を行った。 5月、11月に京セラが薪甘南備山保存会と協働で行うモデルフォレスト運動(治山活動)を支援した。	薪甘南備山生活環境保全林の維持管理を行った。 5月、11月に京セラが薪甘南備山保存会と協働で行うモデルフォレスト運動(治山活動)を支援した。
	○野外活動のつどい (再掲2-(1)-⑤)	社会教育・スポーツ推進		野外活動の集い 450人	野外活動の集い 500人
	○子どもの日(野外活動に親しむ日)無料開放 (再掲2-(1)-⑤)	社会教育・スポーツ推進		野外活動に親しむ日 150人	野外活動に親しむ日 250人
	○土曜わくわく体験教室 (再掲2-(1)-⑤)	社会教育・スポーツ推進		わくわく体験クラブ 延べ1,209人	わくわく体験クラブ 延べ1,047人
	○夕涼みのつどい (再掲2-(1)-⑤)	社会教育・スポーツ推進		夕涼みのつどい 90人	夕涼みのつどい 120人
	○学校田、学級園等での野外活動体験活動	学校教育		未実施	(米作りや栽培活動を実施)
☆22 京田辺市環境基本計画に基づく総合的な環境施策の推進(☆)	○きょうたなべ環境市民パートナーシップ活動支援(☆)	環境	H22~26	きょうたなべ環境市民パートナーシップ活動支援 ・保全活動及び啓発イベント等への支援(里山整備、エコウォーキング、自転車利用啓発、省エネ相談、環境授業等)	きょうたなべ環境市民パートナーシップ活動支援 ・保全活動及び啓発イベント等への支援(里山整備、エコウォーキング、自転車利用啓発、省エネ相談、環境授業等)
	○美化意識向上のための啓発 (市民一斉清掃の推進・美化啓発看板の設置、空き地除草の指導等)	環境		・市民一斉清掃を2回実施(延べ67団体)、参加者 19,881人	・市民一斉清掃を2回実施(延べ70団体)、参加者 20,899人
	○市民環境セミナー	環境		緑のカーテン市民説明会の開催(5月19日) ・講演「温暖化と省エネについて」 環境フェスタの開催(11月17日) ・講演「日本縦断徒歩の旅」	緑のカーテン市民説明会の開催(5月18日) ・講演「温暖化防止について」 環境フェスタの開催(11月16日)
	○地球温暖化防止活動の促進	環境		公共施設におけるKES環境マネジメントシステムの継続認証 「家庭ではじめる省エネガイドブック」の発行	公共施設におけるKES環境マネジメントシステムの継続認証 「子ども省エネ相談所」開催

京田辺市次世代育成支援行動計画(後期)実績報告(平成26年度)

	水と緑のネットワークの推進	○広幅員道路や河川を利用した線的緑化と自歩道のネットワーク化	施設整備	H22～26	水辺の散策路ルート案を策定し、次年度整備箇所の選定を行った	○水辺の散策路整備に伴う測量設計 一式 ○水辺の散策路整備工事 工事延長 L=585m ○水辺の散策路整備(ルートc1)完成に伴う披露セレモニー (H27.2.26)
☆23	緑化の推進(☆)	○緑の基本計画策定の見直し(☆)	施設管理		緑の基本計画策定の見直しについては現計画において事業展開ができていないことから実施は行わず、緑の基本計画に基づき、緑化推進事業を踏襲していく。	緑の基本計画策定の見直しについては現計画において事業展開ができていないことから実施は行わず、緑の基本計画に基づき、緑化推進事業を踏襲していく。
		○誕生記念樹配布	施設管理	H22～26	H25.11.3(1回目)93名 H25.3.21(2回目)111名	H26.11.3(1回目)116名 H27.3.21(2回目)120名
		○市民記念植樹祭	施設管理		H25.4.19 12組	H26.4.19 12組
循環型社会の構築(☆)	○ごみの分別収集の徹底 (ごみ収集カレンダー、広報紙、ホームページ等により告知し、ごみの分別を周知徹底)	○家庭生ごみ自家処理容器等設置費補助 (家庭から排出される生ごみを自家処理してもらうことによりごみの減量化を図る。購入金額に対して補助金交付)	清掃衛生	H22～26	ごみカレンダーを拡大するとともに、カレンダー形式に書き換えて、画像も多くし、誰にでもわかりやすいデザインとした。配布は、年2回行った。 ホームページにおいても、ごみカレンダーをPDF形式で配布した。	ごみカレンダーを拡大するとともに、カレンダー形式に書き換えて、画像も多くし、誰にでもわかりやすいデザインとした。配布は、年2回行った。 ホームページにおいても、ごみカレンダーをPDF形式で配布した。
			清掃衛生		補助件数13件。	補助件数17件。
			清掃衛生		補助団体81団体。 新聞、雑誌、段ボール、紙パック、布類、ビン、金属の累計2,263t。	補助団体80団体。 新聞、雑誌、段ボール、紙パック、布類、ビン、金属の累計2,250t。
☆24	循環型社会の構築(☆)	○教室・講座 (ごみの減量化施策、情報等についての講演等)	清掃衛生		エコパークかんなびと協働で、もの作り教室を18回開催した。 また、市でも市内小学校の施設見学を受け入れ、児童向けに実際にパッカー車を利用した出前講座を行うとともに、市民向けにもMOTTAINAIでごみ減量！というテーマで各地公民館等に出前講座を実施した。	エコパークかんなびと協働で、もの作り教室を18回開催した。 また、市でも市内小学校の施設見学を受け入れ、児童向けに実際にパッカー車を利用した出前講座を行うとともに、市民向けにもMOTTAINAIでごみ減量！というテーマで各地公民館等に出前講座を実施した。
		○市民団体「京田辺エコパークかんなび」の支援(☆) 京田辺エコパークかんなびを支援することにより、「3R」推進に取り組む。 ① リデュース(Reduce)ごみ減量 ② リユース(Reuse) 不要品の再利用 ③ リサイクル(Recycle)ごみ再利用	清掃衛生	H22～26	京田辺エコパークかんなびの活動(3R推進活動に関する各種研修や学習教室、イベント企画、リユースフェア、勉強会、見学会など)の支援を行った。 新田辺東商店街の空き店舗を利用したエコパークかんなびキララ店と協働して、キララフェスティバルなどにも参加し、ぬいぐるみや食器などのリユース普及活動も行った。	京田辺エコパークかんなびの活動支援として、専任の職員を3名雇用し、高齢化が進むエコパークで対応できないリユース品の引取りサービスや、キララ店の運営支援、及び各種研修や学習教室、イベント企画、リユースフェア等の支援を行った。キララフェスティバルや、京都府環境フェスティバルへの参加など、イベント参加も積極的に実施している他、職員とボランティアの垣根を越えた協働を実施している。
	京田辺市の文化を次世代に受け継ぐ事業の推進	○文化財の保護及び市民への情報提供等	社会教育・スポーツ推進	H22～26	未実施	大住隼人舞など市指定文化財への補助や国・府指定等文化財の保全のための事業に補助金を交付した

京田辺市次世代育成支援行動計画(後期)実績報告(平成26年度)

◎ 展開する事業群(3-2-2)

基本目標	3	子どもが安心して暮らし、育つことができる環境づくり
施策目標	(2)	子どもと子育て家庭にやさしいまちづくり
基本施策分野	②	子どもの遊び場・交流の場の充実

☆25

事業名称	事業内容(細事業)	担当課	事業年度	25年度実績	26年度実績
身近な遊び場の整備	○ストリートバスケット設置等	社会教育・スポーツ推進	H22～26	平成25年度は、地元区・自治会の設置要望がなかったため、未設置	平成26年度は、地元区・自治会の設置要望がなかったため、未設置
体育館・運動施設の開放	○スポーツに親しむ日	社会教育・スポーツ推進	H22～26	スポーツに親しむ日 11回27.5時間 延べ1,057人	スポーツに親しむ日 11回 延べ1,171人
公園の新設、整備等(☆)	○近隣公園の整備	施設整備	H22～26	防賀川公園(東側)の整備 … H26へ繰越	○防賀川公園東側整備における過年度用地国債分の買戻し ○防賀川公園整備 敷地造成 A=0.59ha
	○街区公園の整備	施設整備		三山木地区特定土地区画整理4号公園の整備 N=1箇所	○三山木地区特定土地区画整理2号公園 詳細設計 1式
	○公園里親制度(アダプト制度)の普及(☆)	施設管理		すてきなまちなみ支援事業実施(花の一体寺道・田辺東幼稚園前緑地・市道南田辺狛田中央線(同志社山手中央バス停付近))	すてきなまちなみ支援事業実施(花の一体寺道・田辺東幼稚園前緑地・市道南田辺狛田中央線(同志社山手中央バス停付近)・田辺公園展望台散策路付近)
	○公園遊具の安全点検の推進	施設管理		公園施設長寿命化計画策定業務内で健全度調査を実施	公園施設長寿命化計画に伴い13公園21施設を更新・撤去
まちづくり事業での配慮(三山木地区特定土地区画整理事業関係)	○良好な市街地の形成(公共施設(道路、公園、水路等)の整備改善、宅地の利用増進)(再掲3-(2)-③、3-(2)-④)	三山木整備	H22～26	<ul style="list-style-type: none"> ・早期の土地利用を促進するため、都市計画道路等の築造工事を施工した。 ・家屋移転対象戸数157戸のうち、155戸が完了した。 ・家屋移転進捗率 98.7 % ・仮換地指定率 98.3 % ・仮換地使用収益開始率 87.5 % 	<ul style="list-style-type: none"> ・早期の土地利用を促進するため、都市計画道路等の築造工事を施工した。 ・家屋移転対象戸数157戸のうち、156戸が完了した。 ・家屋移転進捗率 99.3 % ・仮換地指定率 99.1 % ・仮換地使用収益開始率 92.4 %

京田辺市次世代育成支援行動計画(後期)実績報告(平成26年度)

あんしん歩行エリア整備事業計画	○交通事故多発エリア(田辺地区)における事故抑制の実施計画の進捗確認	都市計画 計画交通	H22~26	各機関の進捗確認を行った。	各機関の進捗確認を行った。
道路整備	○幹線道路の整備	施設整備	H22~26	該当なし	該当なし
	○準幹線道路の整備	施設整備		歩行者等の安心安全を確保するため、準幹線道路の整備を行う。 ・新田辺東2条線工事 L=270m ・草内薪線舗装工事 A=1380㎡	歩行者等の安心安全を確保するため、準幹線道路の整備を行った。 ・東興戸線 防火水槽設置 N=1基 ・河原浜新田線 工事延長 L=113m ・山手幹線接続道路 用地買収 A=1713.30㎡
子ども緊急避難場所等の指定	○子ども緊急避難場所等の指定(商店等を活用した子ども緊急避難場所等の指定)	安心まちづくり室	H22~26	なし	なし
地域での防犯対策の充実	○防犯灯の設置等	安心まちづくり室	H22~26	13基の街路灯を設置	25基の街路灯を設置
	○地域防犯体制の育成(地域の防犯活動の芽を育成し、交流とネットワーク化の構築)	安心まちづくり室		引き続き検討を行った	京都府田辺地域総務室、田辺署と連携し、綴喜防犯推進委員とともに街頭啓発を3回実施した。
交通安全対策の充実	○交通安全施設の設置及び管理	計画交通	H22~26	9カ所に道路反射鏡を設置した。	9カ所に道路反射鏡を設置した。
	○交通安全意識の啓発	計画交通		京都府田辺警察書と合同で約15回啓発を実施した。	京都府田辺警察書と合同で約15回啓発を実施した。
放置自転車対策の充実	○自転車マナーの向上の啓発	計画交通	H22~26	セーフティーキッズスクールとして市内の児童を対象とした自転車教室を開催した。	・京田辺市立田辺中学校における交通安全スタント事業として、自転車の安全な乗り方や、交通法規について指導した。 ・自転車マナーアップ啓発として、新田辺駅東自転車駐車場で反射材貼付け等の啓発を行った。
防災対策の推進	○災害時の要援護者対策の推進(市防災計画において、災害の影響を受けやすい乳幼児・妊産婦等への支援・救助体制を整備)	安心まちづくり室	H22~26	市内5地区をモデル地区として、災害時要配慮者等の登録を進めている。	市内5地区をモデル地区として、災害時要配慮者等の登録を進めている。
	○自主防災組織の育成	消防本部 安心まちづくり室		・ 消火訓練 10件 788人 ・ 防火・防災講話 3件 175人 ・ 地震体験 3件 155人 ・ 避難訓練 2件 263人	・ 消火訓練 29件 1,907人 ・ 防火・防災講話 3件 177人 ・ 地震体験 4件 184人 ・ 避難訓練 11件 1,063人
	○消防団員育成・強化事業	消防本部		・ 各種訓練 318回 2,237人 ・ 消防学校入校 1回 3人	・ 各種訓練 56回 2,163人 ・ 消防学校入校 2回 3人
☆1 安心・安全教育の推進(☆)	○子どもの事故防止、救急対応等の教育及び情報誌の作成(☆)(再掲1-(1)-①、1-(2)-②)	子育て支援	H22~26	10か月発達相談時、事故予防パンフレットを配布。569人 1歳6か月健診時、パンフレットを配布。619人	10か月発達相談時、事故予防パンフレットを配布。546人 1歳6か月健診時、パンフレットを配布。604人
有害環境対策の推進	○地域環境浄化活動の推進 ・京都府社会環境浄化推進員 ・綴喜地区環境浄化連絡協議会	子育て支援	H22~26	年4回の京都府社会環境浄化推進員による見回り	年4回の京都府社会環境浄化推進員による見回り

京田辺市次世代育成支援行動計画(後期)実績報告(平成26年度)

◎ 展開する事業群(3-2-4)

基本目標	3	子どもが安心して暮らし、育つことができる環境づくり
施策目標	(2)	子どもと子育て家庭にやさしいまちづくり
基本施策分野	④	子育てバリアフリーの推進

事業名称	事業内容(細事業)	担当課	事業年度	25年度実績	26年度実績
京田辺市バリアフリー基本構想策定及び実施	○バリアフリー基本構想の策定	都市計画 計画交通	H21～22	平成23年度策定完了	平成23年度策定完了
	○鉄道駅、道路、公園、駐車場等、公共施設のバリアフリー化(既存都市施設や公共施設のバリアフリー化を計画)	計画交通	H22～26	田辺地区において、基本構想に基づくバリアフリー事業を市や関係事業者で進めている。JRに対し、片町線複線化促進期成同盟会を通じて、大住駅にエレベーター設置を要望した。	田辺地区において、基本構想に基づくバリアフリー事業を市や関係事業者で進めている。新田辺駅の内方線も含めた転落防止設備の整備等を行った。
福祉のまちづくりの推進	○道路整備(市道補修の際は、子どもやベビーカーに配慮し、必要な箇所に段差の解消、細目グレーチングの使用、危険箇所の転落防止策の設置)	施設整備	H22～26	歩行者等に配慮した道路整備事業を行う。 ・山手幹線自転車道整備 L=115m ・市内道路歩道切下 N=18箇所 ・信楽街道踏切改良 1式	歩行者等に配慮した道路整備事業を行った。 ・関屋長尾線 詳細設計 1式 ・新田辺東駅前線他1線 工事延長 L=234m ・新田辺駅前線 横断歩道設置 1式
		施設管理		—	歩行者に配慮した道路改良事業を行う。 ・東室垣外線 防護柵設置 L=103m ・大切八田線 防護柵設置 L=37m
まちづくり事業での配慮(三山木地区特定土地区画整理事業関係)	○良好な市街地の形成(公共施設(道路、公園、水路等)の整備改善、宅地の利用増進)(再掲3-(2)-②、3-(2)-③)	三山木整備	H22～26	・早期の土地利用を促進するため、都市計画道路等の築造工事を施工した。 ・家屋移転対象戸数157戸のうち、155戸が完了した。 ・家屋移転進捗率 98.7 % ・仮換地指定率 98.3 % ・仮換地使用収益開始率 87.5 %	・早期の土地利用を促進するため、都市計画道路等の築造工事を施工した。 ・家屋移転対象戸数157戸のうち、156戸が完了した。 ・家屋移転進捗率 99.3 % ・仮換地指定率 99.1 % ・仮換地使用収益開始率 92.4 %